

◇質疑応答（概要，概ね質問順）

1）東海村広域避難訓練等について

記者： 7月に実施する広域避難訓練では，どれくらいの住民が参加する予定か。

村長： 100人くらいになるかと思う。詳細については，担当課に確認してほしい。

記者： どこかの地区に限定するなど，地区を決めて行うのか。

村長： そのようには考えていない。地区に住んでいる人を限定せず，希望を取る形である。

記者： 要支援の避難との項目があった。その辺りはどのようなになる予定か。

村長： 自主防災組織や関係者，地域の方など，どのような方が良いかは，相談しながら決めていきたいと思う。

記者： 取手市では，既に説明会のようなものは開かれているのか。

村長： 周辺住民に対して話をしているかは分からない。

記者： 先日，ダクトに二か所の穴が見つかったことについて，どのように受け止めているのか。

村長： きちんと点検されているのかについては，これは東海第二発電所だけではなく他の原発もある。あらためて事業所の方にはチェック体制について，きちんと対応を求めたいと思う。

記者： 今後，審査が進み自治体の方が判断するというフェーズに入ってきたときに，このようなことは，どのように影響してくると考えているか。

村長： 事業者の信頼性というか，その根本の話である。安全対策や危機管理に対して，どれだけの意識を持っているかだと思う。そこは，あらためて問われると思う。その大前提として，今，自分たちが保有している施設の安全性について，もう一度，きちんとチェックしてもらいたいと思う。

記者： 広域避難訓練について，基本的に参加住民は自分の車で避難との想定か。

村長： なかなか，それは難しいところがある。途中，事故があった場合の保険の取扱いなど，難しいところがある。公用車の使用を想定しているが，公用車を一般の住民が運転できるかという問題もある。同乗はできると思うが課題がある。住民の方には，自分の車で参加してほしいが，今回の訓練では交通規制はしない。一般の高速道路を走行することになるので，もし何かあった場合の補償をどうするのかなどがある。国が関わるような，県全体での広域避難訓練ともなれば手当などもあるのかと思う。今回は，村単独実施なので，細心の注意を払う必要がある。

記者： 首長懇談会について，その後の進展状況はどうか。

村長： 協定を結んだ後の進展はない。それぞれの市町村の担当課長や担当者が代わったり

している。一度、事務方同士の会議は必要であると思うが、まだ、首長同士で会って、これについて話し合う状況は今のところない。

記者： 事務方の会議も、特に行っていないのか。

村長： そうだ。特に行ってはいない。

記者： 避難行動要支援者は、実際の避難行動要支援者になるのか。それとも、避難行動要支援者に扮した一般住民か。

村長： できるだけ実態に即した方がいいと思うが、実際にはいろいろな負担になる。協力が得られれば、そういう方も入ることになるかと思う。

記者： 避難行動要支援者については、本人への協力を求めたいが、強制的な参加はということか。

村長： 強制はできないし、どういう方をということについては、これからよく考えなくてはならない。

記者： 役場職員が運転する公用車に一般住民が同乗することになるのか。

村長： 一般の住民の方が自分の車を使うというのは、なかなか難しいかと思う。

記者： 当然、バスの避難もする予定か。

村長： そうだ。

記者： 今後、他のつくばみらい市や守谷市との受け入れや避難訓練の実施などは、どのように考えているのか。

村長： 取手市で行わせていただいて、結果を見ての判断になるかと思う。今年度中に、さらに、つくばみらい市や守谷市と立て続けにとは考えていない。

記者： 避難訓練の実施が広域避難計画の策定に向けてのどのような位置付けになるのか。

村長： 去年も、訓練としては要素訓練であった。一部なので、実態とかけ離れているという批判もあった。文書で書いたものが、実際にどのような動きになるのか。避難先へ行き、そこで避難所の運営がどうなるのか。役場自体の災害対策本部を移転というのは、情報機器を持っていくのか、どのような体制を組めるのかなど、頭で考えているほど簡単ではないと思う。細かいところも含めると、相当気づくことも多いと思うので、効果はあると思う。

記者： 避難計画の策定期間は明言していないが、訓練の結果次第では、策定期間がもう少し後ということも考えられるのか。

村長： 訓練を毎年行っているのは、この計画に対して、住民の方々がどの程度理解してもらえるのかのためのところもある。新たに疑問とか、いろいろなことが出てくると思う。それに、どのように答えられるかにより策定期間も決まってくると思う。

記者： 安全協定が決まり、いわゆる発言権、拒否権のようなものが、周辺の自治体にはあ

と思う。村として、賛成か反対かという判断する時に、どのようにして住民の意思を、その判断に反映していくのか。例えば、那珂市ではアンケートなどを実施していると思う。村はどうやっていくのか。

村長： 住民の意見をどのように吸い上げるのか、把握するかについては、ずっと悩んでいる。しかし、住民投票やアンケートなどで、単純にマルやバツでという話でもないと思う。どういう形で集約するのかは本当に悩ましい。判断してもらうための情報提供をどのようにするかもある。年に 1 回、地域で村政懇談会を行っているが、原発の再稼働についてのテーマで話し合うような機会も必要なのかと思う。その上で、最終的に判断するというのは、議会の判断も必要でしょう。そのような話し合いの場を設ける上で、住民の方々に、住民の意思の反映などについて、どのような形が良いと思うかなどと投げかけてみたいとも思う。

記者： 広域避難に関しては、いろいろと課題があると思う。東日本大震災の時は複合災害だった。地震と津波が起きた時に、東海村内で約 20 時間、車が渋滞したことや久慈川と那珂川の橋で段差ができて乗り越えられなかったというような話もある。避難先で長期化する時に、東海村でハンドリングを取るのか、それとも避難先の自治体に任せるのかなどについてはどうか。

村長： 東日本大震災の時は、確かにそうであった。複合災害を想定した避難計画は作らなくてはならない。自家用車で避難するという意味でいうと、複合災害を想定した避難計画は作らないとならない。それをやる時期が今なのか、そこまではっていない。茨城県の方も認識していると思うが、複合災害を想定したものは、なるべく早く取り掛からなければならぬだろうと思う。避難所の長期化については、当面 1 か月を目安にしている。その先となると、茨城県の方も認識はしていると思う。さらに、次の自治体というときには、そこまで事前に協定等で取り交わすことができるのかという、現実にはなかなか難しいと思う。自分で、その後を探すようになってしまうのかもしれない。その課題を考え出すと、その手前のところも、まだきちんと解明できていない段階なので非常に重い課題だと思う。

記者： 村外の観光バスを避難用の観光バスとして避難所に届けて、そこから村外に避難するというのもあった。複合災害の場合は、渋滞でバスが来ること事態が難しくなると思う。その課題などの洗い出しはこれから先となるのか。

村長： バスについては、茨城県の方で手配というか、そこが窓口になることになっている。茨城県もバス協会と連携を取って対応したいと言っているが、具体的には進んでいないと聞いている。そこは早急に詰めなければならないと思う。

記者： 原電の方で、東海第二原発の再稼働に向けての工事の審査書類などを規制庁に提出しているかと思う。遅れていることに対しては、どのように受け止めているか。

村長： 規制庁に指摘されていることについては、真摯に答えたいと思っているのであろうが、対応が遅いことについては、体制の問題なのか、指摘されている事柄の難しさなのか、その違いは分からない。いずれにせよ、事業者として真摯に対応してもらえないと思う。

記者： あと半年で 40 年という時期になっている。今の時期というのは、村長の判断をする中で、現段階ではどのようなスタンスか。例えば、水戸市では有識者を集めようとか、議会の方では、いろいろな動きがあるということだ。そういう話を聞く状況なのかと思うが、現在は、どのようなスタンスで判断に向けていくのか。

村長： ひとつは、原子力規制委員会の審査の状況というのは、引き続き注視していきたい。自治体として挙げるのは、広域避難計画の実効性というのが、どのような形で高められるか。前は、ある程度、広域避難訓練を村単独で行えたが、今回は、相手があり、取手市の理解をいただくことができた。今後は、より関係者が多くなると思う。茨城県が中心になって行うためには、UPZ 内の全てが揃わないと動かないと思う。東海村が単独でやるのも限界があるが、広域避難計画は自治体の責務である。これについての検証などは行わなければならない。それを行った上で、本当に住民の方々にきちんと理解してもらう必要があると思う。

記者： ダクトの件について、チェック体制をきちんと行っているのかの確認をお願いしたい。懇談会で、事業者に何か具体的なお願いや、要望などを考えているのか。

村長： 今すぐには、行動に移すことはないと思う。今後、同じようなことが出てくるのであれば、原子力規制委員会による審査以前の問題として、事業所の施設の安全確保を再徹底する。村内すべての原子力事業所にその辺りのチェック体制をきちんとするということは、原子力所在地域首長懇談会というよりは、東海村単独なのかもしれない。